

質問に対する回答

令和4年8月10日 現在

番号	質問内容	回答
1	震度計入れ替えに伴い、IDC（札幌市内）の既設の変更がありますか。	IDC（札幌市内）の既設の変更はありません。あくまでも68震度計についての更新です。
2	震度計について、仕様書内機器仕様「計測部・処理部」について、それぞれいずれも屋内なのか、屋外の箇所もあるのか。また、センサーの変更等必要でしょうか。	計測部（感震部）は、ほぼ屋外設置で震度計カバーの中に計測部（感震部）がコンクリート上に設置されています。北竜町と古平町は屋内設置となっております。処理部（制御部）は、屋内設置されておりNEC様の衛星IDUの周辺に設置しております。 センサー＝計測部（感震部）という認識であれば変更は必要となります。計測部と処理部は対（ペア）となっております。
3	検討されている震度計（制御部・計測部）はともに製造メーカーはJRC製ですか。それとも他メーカー製をJRC様が構築するイメージですか。もし后者ならどちらのメーカーか教えていただけませんか。	震度計について、現在使用しているメーカーは国際計測器の震度計です。また、震度計更新に係る震度計としては、危機対策課として検討しているものはなく、あくまで、「気象庁検定合格品」であり、「仕様書の内容を満たすもの」と、考えております。
4	公示用の設置図面をご提供いただけませんか。もし、なければ既設図面でもいただけないか。発注者様と既設業者以外、どこにどのように設置するかわからなく、その結果積算できません。	震度観測点毎の機器数量表等で設置場所や必要なケーブル等が分かるほか、今回の震度計入札は設置場所を変える訳ではないことから、設置図面等については公開しておりません。
5	更新する震度計と現在のサーバソフトとの接続（通信手順等）を確認するための工場での試験環境（仮サーバ・疑似ネットワークの設計・製作・準備費）構築や接続確認試験など、全て乙負担と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
6	更新する震度計のためにサーバのソフトウェアの通信フォーマットの修正を行うことは可能でしょうか。	ほぼすべての機能試験が必要となることから、非効率的であること、現設備で当該試験をするとシステム全体が長期間停止し全道の震度観測に支障を及ぼすため、現実的ではないと考えております。
7	現在 震度計処理部に保存されている過去の地震データ（震度値、及び波形）を更新する震度計処理部に入れて正常に動作すること、という解釈でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
8	現状の基礎に設置されている据付用アンカーボルトを撤去して、新たにアンカーボルトを設置しても良いでしょうか。	既設アンカー位置と新たに設けるアンカー位置が近接している場合、穿孔（穴あけ）作業によりコンクリートの強度に影響を及ぼすことから、認められないと考えます。
9	現状の基礎に設置されている据付用アンカーボルトを使用して設置する際、更新する計測部の取付穴とアンカーボルト位置が合致しない場合、計測部と基礎との間に取付用金具を介することは可能でしょうか。	取付金具の影響により震度観測に支障を与える可能性を排除できないので、計測部と基礎は直接固定するのが望ましいと考えます。